

2019年7月

2019年6月に病棟看護師を対象に 「急変時対応シミュレーション」を行いました

※今回も研修医はじめ多くの先生方にご協力いただきました。

(協力していただいた先生＝森実あすか先生、川崎先生、芳我先生、藤田先生、藤原先生)



入院中の患者さんが倒れ、心肺停止に！！

当直医へのコール・スタッフへ応援要請
(救急カート・除細動器・その他必要な物品)

家人への電話・・・等

急変時の対応は、声を出し合い、確認することが大切です。焦らず冷静に周りを見て行動することが求められます。

**心臓マッサージは・・・
正しいポジショニングで！
深さは？回数？胸郭は戻っている？**

予習をして臨みましたが、本番はなかなか難しい
でも、繰り返すうちに実際のように緊迫感
あふれる対応が出来るようになりました



《感想》

最初は何をしたら良いのかわからず、棒立ちになってしまった。Drの指示も理解できないこともあった。その後の反省会で1人1人が声を出して、自分が今何をしていて、他のスタッフに何をしたいのか伝えることが大切と学びました。学習を深め、知識を増やしていきたいです(2年目)

〈教育委員より〉

新人のうちや、急変に遭遇したことないスタッフは、特に不安も多いと思います。まずは、**その場に行くこと**です。Drや先輩スタッフが何をしているのか、どんな声かけをし、準備しているか感じる事が急変対応の第一歩です。緊張感ある空間へとびこむことは勇気がいりますが、あなたの成長にとって大きな一歩に繋がると 생각합니다。一緒に頑張っていきましょう。

課題はたくさんありますが、一緒に学習し身につけましょう！